

## 渋谷中学高等学校との交流会！

10月13日（土）、渋谷教育学園渋谷中学高等学校（以下、渋渋）が修学旅行で長崎を訪れ、そのうちの平和班16名と本校国際科4名（山口、山中、重山、松尾）が原爆遺構を巡って交流しました。渋渋生と対面してまず驚いたのが、制服や髪形の自由さです。同じ服装の人がおらず、髪も手入れがなされていて、相手ができるか不安でしたが、話してみると、いい人ばかりで安心しました。クイズ部や、模擬国連部といった、ユニークな部活のお話が、新鮮でした。



### ● 山王神社

ここでは、原爆によって片方の鳥居が崩壊してしまった一本柱鳥居と被ばくクスノキを見ました。ビルの角を曲がり、一本の柱だけで佇む鳥居を目にした生徒さんたちは驚きの声をあげていました。

### ● 旧長崎医科大学

原爆の落とされた当時からあったというゲストハウスや爆風で傾いた旧長崎医科大学の正門は私たちに、原爆の恐ろしさというものを痛烈に感じさせました。

### ● 浦上天主堂

移動しているときはみんなと話しながら盛り上がっていたのですが、破壊されたマリア像を見ると、みな静まりかえってしまいました。マリア像が訴えているものを感じ取ったからだろうと思います。

### ● 如己堂・永井隆記念館

私も如己堂には、平和学習で何度か訪れたことはありましたが、如己に「己の如く人を愛す」という意味が込められていたことは初めて知りました。永井博士が後世に残した「もう二度と戦争を起こしてはならない」というメッセージを生徒の皆さんと共有することができました。



### ● 平和公園

平和公園に足を踏み入れてすぐ、ある生徒さんから「あの像のポーズには何か意味があるのですか」と尋ねられました。この一言に私は、平和へ対する深い関心を感じました。平和祈念像のポーズの説明をしながら、今回の交流は決して無駄なものではなかったと確信しました。

### ● 城山小学校

城山小学校には被ばくした旧校舎が平和祈念館として残されていました。原爆の被害に遭った建物が現存していることもそうですが、それ以上に、その建物に入れるということは大変すごいことだと思います。自分の目で原爆の被害を確認することで、原爆の恐怖を実感しました。

## 感想

「私は、小学校の平和学習ですべての場所に行ったことがありましたが、高校生になって行くと改めて勉強になりました。渋渋生からは、「すごい」という声はあったけれど、恐ろしさはあまり感じていないように思いました。原爆資料館は、最後に行く予定になっていたのに、そこでもっと原爆の恐ろしさを知って、心にとめて



おいてほしいと思いました。交流をしてみて、**原爆に対する認識の差**をととも感じました。平和学習は、渋渋ではないと聞いて、やはり長崎や広島だけでなく、全国でしたほうが良いと思いました。」

「あまり真面目にしすぎると、馴染みにくい、とっつきにくいものになってしまいます。だからと言って原爆について軽々しく触れることもできません。同じように、たくさんの人に平和の大切さを伝えるための資料はわかりやすいのはもちろん、固すぎない文章が望ましいと思いますが、おもしろくなってしまったら戦争の恐ろしさがいまいち伝わりません。**バランスの取り方が難しい**のがわかりました。」

